

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	健康診査・保健指導事業	事業番号	011-181
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	3,569	6,639	4,397	4,361	4,643
	国支出金	1,199	1,239	1,300	1,300	1,404
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（基金繰入）	6	69	46	52	46
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	2,364	5,331	3,051	3,009	3,193
14	人件費（b）	1,070	1,070	1,060	1,620	1,680
15	年間経費（c）=（a）+（b）	4,639	7,709	5,457	5,981	6,323

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	消耗品費（枠）	決算	3	3	通信運搬費	決算		0	0
			予算	23	23		予算		30	30
	印刷製本費		決算	150	150		決算			
			予算	161	161		予算			
	健康診査（枠）		決算	4,129	2,829		決算			
			予算	4,286	2,882		予算			
	保健指導（枠）		決算	27	27		決算			
			予算	97	97		予算			
	甲状腺検査費用負担金（枠）		決算	52	0		決算			
			予算	46	0		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 受診者数	人	459	445
	② 上記①にかかる年間経費	千円	7,709	5,981
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	16,795	13,440
算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度からの特定健康診査第4期移行に伴い、健康診査も内容の見直しを行い、令和5年度中に健康管理システムの改修を行ったため事業費が増加していたが、令和6年度はシステム改修が不要のため、事業費は減少した。 令和2年度から令和3年度にかけて、受診者数が200人台に減少し、令和5年度には受診者数は回復していたが、令和6年度は445人（受診率2.2%）でやや減少した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	健康診査・保健指導は、主に生活保護受給者を対象とした事業である。生活援護管理課や各区保健福祉総合センター生活援護課と連携し、生活保護受給者に対し、健診受診勧奨を行っている。 また、健診の結果、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導と同様の基準で階層化し、保健指導の基準に該当した受診者には、医療機関または保健センターで概ね3か月の保健指導を実施することにより、重大な疾病に至ることを未然に防ぐことができている。 庁内関係課と連携し、健診を実施することで、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。
----	--